

ユニオンファンド 月次レポート

第 121 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2018年12月6日作成

MONTHLY TOPIC

投資と結婚生活の似ている点 ～健やかな時も病める時も～

11月は少しだけ回復したユニオンファンドですが、年初からの落ち込みを埋めるには程遠い状況です。下がったところで買い増したのに、そこからまた下がる繰り返りで心配だ、ウンザリだ、という方もおられるかもしれません。こんなことならやるんじゃなかったと後悔し始めていませんか？ いやいや、ここからが肝心です。

マーケット環境がファンドの運用方針に適している時と、適していない時がある

個人投資家向けを中心に長く投資教育をされている岡本和久さんという方が発行されている『インベストライフ』という月刊誌があります。その直近号で岡本さんは以下のようにお書きです（2018年11月15日発行）。

「どのように素晴らしい運用手法であっても、一つの運用戦略がマーケットの中でずっと良いパフォーマンスをもたらすことはありません。短期的には、うまくいくときもうまくいかないときもあります。本当のパフォーマンスは、長期間にわたって運用戦略を続けてもらうことで得ることができるのです。」

また、そのために運用者はお客様に運用戦略を理解していただく必要があるとおっしゃっています。弊社も今後一層この点の改善・向上を進めてまいります。

さて、こうした長期のスタンスと対照的なのが、時流に乗っていてすぐに利益が出そうなファンドや運用手法です。曰く、「うまくいきます、いまも上がっています、だからすぐ買った方がいいです」。しかし、とても素晴らしいように思えるものであっても、しばらくすると時代遅れになり、いつしか見向きもされなくなることが少なくありません。いま好調なものに乗り換えるのは、高値をつかむリスクも高いものです。こうしたやり方を私は「モグラたたき投資法」と呼んでいます。頭が出てから叩こうとしても遅いのです。

「モグラたたき」ではなく、いいところを確認し、支える

結婚生活にも似たところがあると感じます。結婚は、相手との長い付き合いなので、時には欠点が鼻についたり飽きたりすることもあるでしょう。だからと言って頻りに相手を取り換えたりはしません。肝心なのは相手の良い所。そこが好きで結婚した、という長所です。「健やかな時も病める時も」寄り添い支え合うことが大切です。こうした積み重ねが大切な財産となり、心豊かな老後につながっていくのではないかと思います。

どんなファンドにも好不調の波はあります。ここ数年、特にこの1年は、新興国の株価と為替の不振でユニオンファンドも冴えませんでした。しかし、長期で財産づくりをすることが目的であるなら、長期の成長を思い切って取り込もうというユニオンファンドの運用の考え方は間違っていないと思っています。この点を改めて思い返していただき、つみたて投資を中心に途切れることなくお付き合いを続けていただければと願っています。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

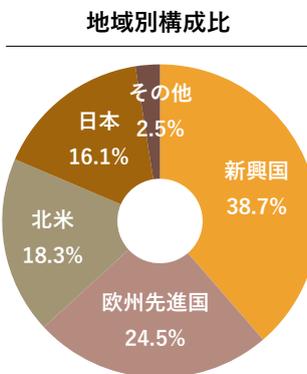
ユニオンファンド運用状況

(2018年11月末現在)

| | |
|------------------|---------|
| 基準価額 | |
| 23,053 円 | |
| 純資産総額 | |
| 61 億 05 百万円 | |
| 期間別騰落率(%) | |
| 1 ヶ月 | 3.54% |
| 6 ヶ月 | -4.73% |
| 1 年 | -10.51% |
| 3 年 | 7.89% |
| 5 年 | 22.90% |
| 設定来 | 130.53% |

| | |
|----------------|--|
| 複利年率(%) | |
| 8.61% | |

*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2018年10月末現在)



組入ファンドの内訳

| ファンド名 | 主な地域 | 組入比率(%) | 月間騰落率(%)※ |
|-------------------------|------|---------|-------------|
| さわかみ F | 日本 | 6.8% | 4.0% |
| スパークス F | 日本 | 7.2% | 4.0% |
| キャピタル F | 欧米 | 13.8% | 3.2% |
| ハリス F | 欧米 | 19.9% | 2.8% |
| コムジェスト・ヨーロッパ F (SA/90) | 欧州 | 6.0% | -1.3%/-1.3% |
| コムジェスト・エマージング F (SA/95) | 新興国 | 36.7% | 5.9%/5.9% |
| 現金等 | - | 9.6% | - |

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算
コムジェスト・ヨーロッパ F、同エマージング F：2 本のベビーファンドの各騰落率を表示

- ファンドの特長**
- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
 - ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
 - ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
 - ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
 - ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2018年11月の市場動向と運用状況

投資環境と基準価額の推移

11月の世界の株式市場は、月末比較（ユニオンファンドの基準価額に反映する日付ベース）では若干の上昇となりましたが、上下にかなり大きく変動しました。

米国市場の推移を振り返りますと、まず中国の習近平国家主席と電話会談を行ったトランプ大統領から、貿易交渉前進の可能性が示唆されたことや、中間選挙で共和党が上院の過半数を確保し、政策の大幅な転換や後退はなさそうだと安心感が広がったことなどから、堅調に始まりました。しかし、大手ハイテク企業の業績の先行きへの不透明感が強まったため中旬には弱含みに転じ、一時は10月下旬の安値を下回る水準まで下落しました。下旬から月末にかけては、年末商戦が好調にスタートしたことに加え、FRB（連邦準備制度理事会）幹部から金融引き締めピッチを緩める可能性が示唆されたことなどを好感し、一気に反発しました。世界の株式市場は、総じて米国の上下変動に振り回される展開となりました。

ユニオンFはほぼ市場並みに値上がりしました。コムジェストEMFは、米国の金利が頭打ちとなったことを好感して新興国の株価と為替が回復したことなどから、最も大きく値上がりしました。一方、コムジェストEUFは、英国のEU離脱問題や欧州の景気悪化の影響で市況が弱かったことに加え、組入銘柄の出遅れにより値下がりしました。

運用の状況

市場の混乱が続くと予想し、買付は見送りました。月末時点の全体の組入比率は90.4%と、ほぼ前月末並みでした。

今後の見通しと運用方針

最も重要な点は、世界経済の減速と米国の金融引き締めだと見ています。昨年この時期は、世界経済が極めて順調に拡大し、特に米国では大減税の効果も加わって企業業績は絶好調でした。しかしその後、景気が減速し始める一方で、米国は量的緩和の巻き戻し、日本と欧州はその縮小を進めています。弱い景気と金融引き締めの組み合わせは、株式市場にとってよいものではありません。こうした環境へのシフトが投資家の先行きへの自信を揺るがせ、大きな株価変動をもたらしていると思われる。

米国と中国との間の貿易摩擦は、ただでさえ冴えない景気の足取りをさらに重いものにさせています。11月末に開かれたG20で米中首脳会談に注目が集まったのも、交渉の帰趨が世界の景気に与える影響が大きいからです。この会談では差し当たり決定的な亀裂は避けられ、休戦状態に入りました。あとは今後の交渉次第です。ただ、仮に最もいい方向で決着したとしても、それで景気が一気に盛り返すというわけにはいかないでしょう。

11月末にはFRBの幹部から来年の早期利上げ打ち止めをにおわせる発言が相次ぎましたが、その可能性は弊社でも予想していました。問題は、仮にそうなったとしても金利引き下げに転じるわけではなく、量的緩和の巻き戻しも続くことです。景気と金融の両面からみて今後もギクシャクした動きが続く可能性が高そうです。ただ、ここは投資のチャンスでもあります。当面は荒れ模様でも、中長期での株価上昇は今後も続くでしょう。従いまして、環境を慎重に見守りつつ、割安と思われるファンドの買い増しの機会を引き続き丹念に探っていく方針です。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



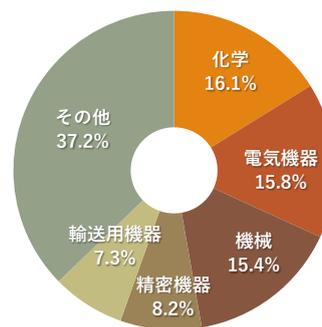
国別構成比



組入銘柄トップ10

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|------------|-------|-----|----------|-----------------|
| 1 日本電産 | 5.1% | 日本 | 電気機器 | 精密モーター世界首位 |
| 2 ブリヂストン | 4.5% | 日本 | ゴム製品 | タイヤ世界首位 |
| 3 花王 | 4.1% | 日本 | 化学 | トイレットペーパー首位 |
| 4 ダイキン工業 | 3.4% | 日本 | 機械 | エアコン世界首位 |
| 5 テルモ | 3.2% | 日本 | 精密機器 | 医療機器 (カテーテル) |
| 6 浜松ホトニクス | 2.9% | 日本 | 電気機器 | 光検出器の世界的企業 |
| 7 TOTO | 2.9% | 日本 | ガラス・土石製品 | 衛生陶器首位 |
| 8 信越化学工業 | 2.8% | 日本 | 化学 | 塩ビ・シリコンエポキシ世界大手 |
| 9 国際石油開発帝石 | 2.7% | 日本 | 鉱業 | 石油メジャー |
| 10 トヨタ自動車 | 2.6% | 日本 | 輸送用機器 | 自動車世界大手 |
| 上位10銘柄 | 34.1% | 現金等 | 11.6% | |

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年11月末現在>

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



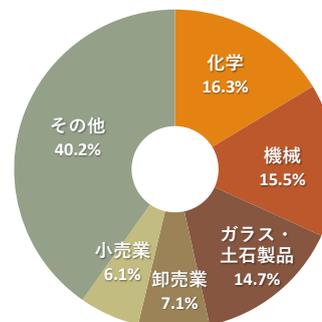
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|------------|----|----|----------|-----------------|
| シップヘルスケアHD | — | 日本 | 卸売業 | 医療機器・設備 |
| 日本電気硝子 | — | 日本 | ガラス・土石製品 | ディスプレイガラス等で世界大手 |
| MARUWA | — | 日本 | ガラス・土石製品 | セラミック基板世界トップ |
| 三浦工業 | — | 日本 | 機械 | 産業用小型ボイラー大手 |
| オルガノ | — | 日本 | 機械 | 水処理装置大手 |
| 日本信号 | — | 日本 | 電気機器 | 鉄道信号日本1位 |
| エフピコ | — | 日本 | 化学 | 食品トレイなど容器の大手 |
| デサント | — | 日本 | 繊維製品 | スポーツウェア・用品大手 |
| トーセイ | — | 日本 | 不動産業 | 不動産流動化・開発・賃貸等 |
| 京成電鉄 | — | 日本 | 陸運業 | 東京・千葉方面の大手私鉄 |
| 現金等 | | | 9.0% | |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年10月末現在>

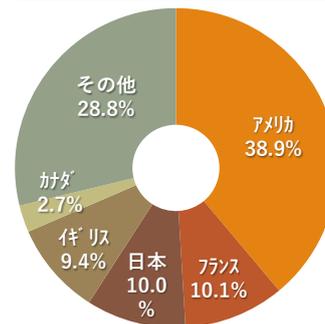
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



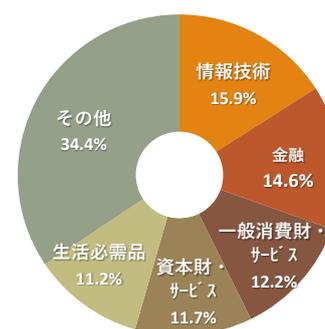
国別構成比



組入銘柄トップ10

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|-----------------|--------------|------|---------------|-----------------|
| 1 Airbus | 2.0% | フランス | 資本財・サービス | 世界有数の航空機メーカー |
| 2 Pernod Ricard | 1.9% | フランス | 生活必需品 | アルコール飲料、食品 |
| 3 Alphabet | 1.8% | アメリカ | コミュニケーションサービス | グーグルの持ち株会社 |
| 4 GoDaddy | 1.6% | アメリカ | 情報技術 | ドメイン登録、レンタルサーバ |
| 5 Microsoft | 1.5% | アメリカ | 情報技術 | 世界最大のコンピュータ・ソフト |
| 6 Enel | 1.4% | イタリア | 公益 | 国内最大の電力会社 |
| 7 Visa | 1.4% | アメリカ | 情報技術 | 世界有数のクレジットカード |
| 8 AIA | 1.4% | 香港 | 金融 | 生保・金融サービス |
| 9 ASML | 1.4% | オランダ | 情報技術 | 半導体製造装置メーカー |
| 10 CME | 1.4% | アメリカ | 金融 | 先物等の国際的取引所 |
| 上位10銘柄 | 15.8% | | 現金等 | 5.2% |

業種別構成比



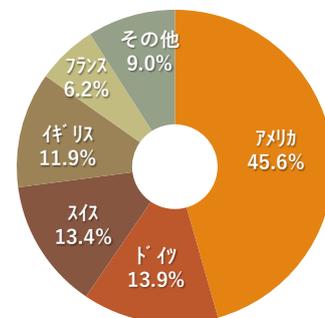
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年10月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



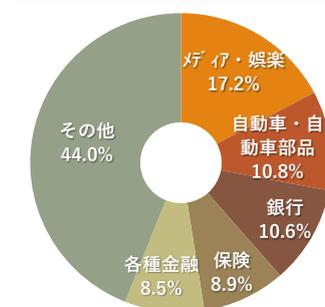
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|--------------------------|--------------|-------|-------------|---------------|
| 1 DAIMLER | 4.9% | ドイツ | 自動車・自動車部品 | 世界自動車大手 |
| 2 BNP PARIBAS | 4.8% | フランス | 銀行 | フランス大手銀行 |
| 3 CHARTER COMMUNICATIONS | 4.1% | アメリカ | メディア・娯楽 | ケーブルテレビ、携帯電話 |
| 4 CNH INDUSTRIAL | 4.0% | オランダ | 資本財 | 農機・建機メーカー |
| 5 CREDIT SUISSE | 3.8% | スイス | 各種金融 | スイス大手銀行 |
| 6 ALPHABET | 3.7% | アメリカ | ソフトウェア・サービス | グーグルの持ち株会社 |
| 7 ALLIANZ | 3.4% | ドイツ | 保険 | 総合保険大手 |
| 8 GLENCORE | 3.3% | イギリス | 素材 | 鉱山開発・商品取引 |
| 9 NASPERS | 3.2% | 南アフリカ | メディア・娯楽 | 中国TENCENTの大株主 |
| 10 GENERAL MOTORS | 3.1% | アメリカ | 自動車・自動車部品 | 米ビッグ3の一角 |
| 上位10銘柄 | 38.5% | | 現金等 | 2.1% |

業種別構成比(マザーファンド)



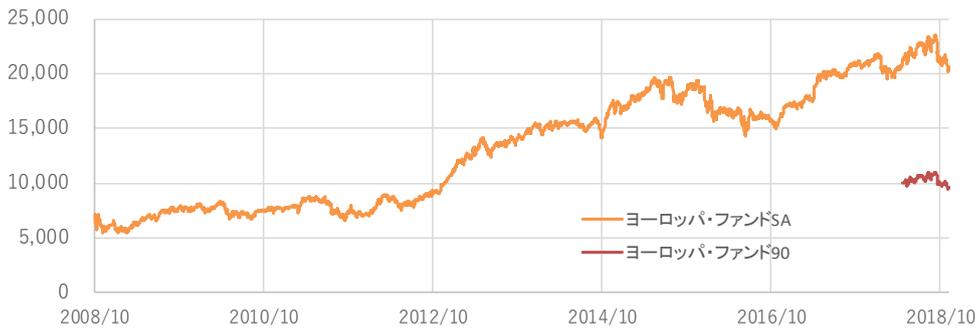
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年10月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF

(ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA)
(コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



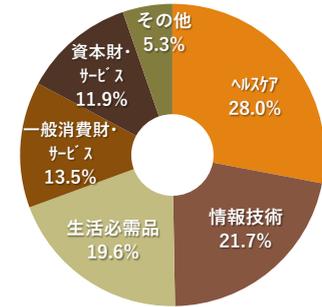
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|---------------------|--------------|--------|------------|-------------------|
| 1 INDITEX | 6.3% | スペイン | 一般消費財・サービス | アパレルメーカー |
| 2 AMADEUS | 5.2% | スペイン | 情報技術 | 旅行予約システム |
| 3 COLOPLAST-B | 4.9% | デンマーク | ヘルスケア | 人工肛門世界大手 |
| 4 ESSILORLUXOTTICA | 4.8% | フランス | ヘルスケア | 光学製品 |
| 5 SAP | 4.0% | ドイツ | 情報技術 | ビジネス向けソフトウェア大手 |
| 6 HEINEKEN | 3.9% | オランダ | 生活必需品 | ビール生産世界大手 |
| 7 SIKA | 3.5% | スイス | 素材 | コンクリートなど建設・工業用化成品 |
| 8 LINDT & SPRUENGLI | 3.5% | スイス | 生活必需品 | チョコレートなどの食品・飲料 |
| 9 STRAUMANN HD | 3.4% | スイス | ヘルスケア | 歯科インプラントメーカー |
| 10 ASSA ABLOY B | 3.2% | スウェーデン | 資本財・サービス | 鍵等のセキュリティシステム世界大手 |
| 上位10銘柄 | 42.7% | | 現金等 | 6.1% |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年11月末現在>

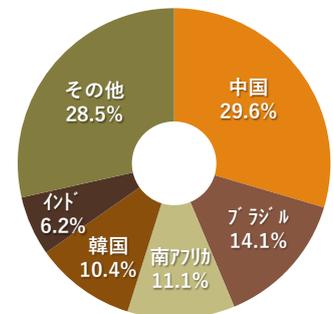
コムジェスト・エマージングF

(ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA)
(コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



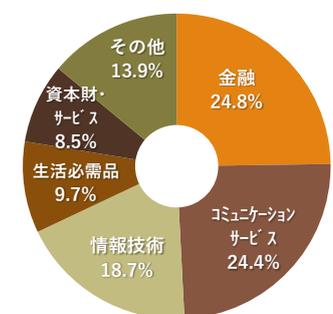
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|------------------------|--------------|-------|---------------|--------------------|
| 1 TSMC ADR | 5.9% | 台湾 | 情報技術 | 半導体メーカー |
| 2 PING AN INSURANCE | 5.6% | 中国 | 金融 | 保険大手 |
| 3 NETEASE ADR | 3.8% | 中国 | コミュニケーションサービス | オンラインゲーム |
| 4 COGNIZANT TECHNOLOGY | 3.6% | アメリカ | 情報技術 | インドに受託拠点を置くIT会社 |
| 5 BAIDU ADR | 3.4% | 中国 | コミュニケーションサービス | 検索エンジン世界大手 |
| 6 NASPERS | 3.3% | 南アフリカ | コミュニケーションサービス | メディア。中国TENCENTの大株主 |
| 7 FOMENTO ECONOMICO | 3.2% | メキシコ | 生活必需品 | 飲料、コンビニチェーン |
| 8 SANLAM | 3.1% | 南アフリカ | 金融 | アフリカの保険大手 |
| 9 BB SEGURIDADE | 3.1% | ブラジル | 金融 | 保険大手 |
| 10 HANGZHOU HIKVISION | 3.0% | 中国 | 情報技術 | ビデオ監視機器世界大手 |
| 上位10銘柄 | 38.0% | | 現金等 | 3.5% |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年11月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目録見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

■ 年末年始の営業日・営業時間等について

年末年始の営業日・営業時間および取引受付時間は、以下のとおりとなります。

| | 営業日 | 営業時間 | 取引受付時間 |
|----|---------------|--------------|----------|
| 年末 | 2018年12月28日まで | 9:00 ~ 17:00 | 15:00 まで |
| 年始 | 2019年1月4日から | | |

※ ファンドを換金（解約）されるお客様で、年内に解約代金お受取りをご希望される場合は、12月20日（木）15時までにお申し込みください。

■ 目論見書の改定について

2018年12月22日にユニオンファンドの目論見書を改定いたします。

- ◎ 同日以降、新たな交付目論見書、請求目論見書を弊社ホームページへ掲載いたします。
- ◎ 今回の目論見書改定において重要な事項に変更はありません。
- ◎ 「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部までお申し出ください）。

■ 個人番号（マイナンバー）のご提供について

2016年より開始されております「マイナンバー制度」に伴い、同年より前に口座開設されたお客様へ、法令に基づき同年10月からお送りさせていただきました「個人番号（マイナンバー）ご提供のお願い」により、マイナンバーをご提供いただいております。

本年（2018年）末でご提供の猶予期間が終了いたします*ので、該当されるお客様で、まだ弊社までご提供いただけていない方、ご提供の際の書類漏れなどで受付できずに返却させていただきました方におかれましては、ご提供のほど、何卒よろしくお願いたします。

* 猶予期間終了後は、法令に基づく告知がなされていないこととなり、2019年1月1日以後最初にご解約されるときまたは分配金再投資があるときまでに、マイナンバーをご提供いただく必要がございます。

< 「個人番号届出書」と「個人番号確認書類」のご提出をお願いいたします。 >

- ・「個人番号届出書」とは、弊社での登録内容（お客様コード・お名前・ご住所等）が印字された書面です。
- ・「個人番号確認書類」とは、マイナンバーの「通知カード」または「個人番号カード」の両面コピーです。

※ 「個人番号（マイナンバー）ご提供のお願い」がお手元がない場合は再発行させていただきます。

弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までご請求ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.864% (税抜き 年 0.8%) の率を乗じて得た額です。
毎日、当ファンドの信託財産より控除されます。
[*実質的な信託報酬：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3% (概算)]
* 『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めた率です。
目安であり、組入状況により変動します。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が当ファンドの信託財産より控除されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税等相当額の費用を含みます)
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用(監査費用)(消費税等相当額を含みます)

※ 監査費用は委託会社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。